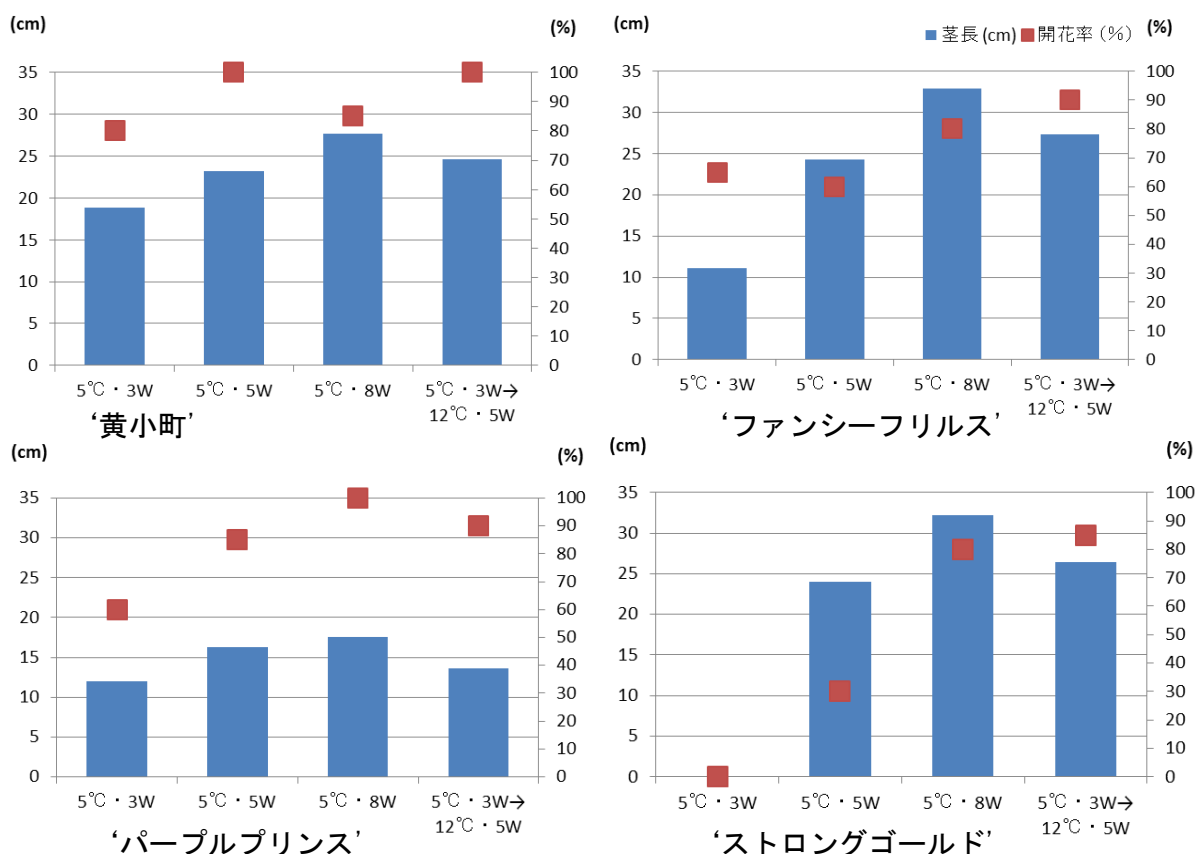


促成栽培における鉢花チューリップの草姿改善

チューリップの鉢花は、茎が伸びすぎると鉢とのバランスが不良となります。花を早く咲かせる促成栽培では、球根を冷蔵庫に入れて、5℃・8週間の低温処理をした後に鉢へ植え付けます。その低温処理の温度と期間をかえて、草姿を改善する栽培法を検討しました。5℃の期間を短くすると、茎が短くなりました。

品種によっては開花率が低下しますが、その後12℃にすることで開花率は回復しました。低温処理の温度と期間に対する反応は品種によって異なりますが、品種に適した調節をすることで、茎を短くして草姿を改善することができました。



促成栽培における低温処理が茎長と開花に及ぼす影響



5℃・8週間 5℃・5週間 5℃・3週間

草姿調節に適する低温処理条件は、品種によって異なります。



品種：サニープリンス
Bar : 10 cm

(園芸研究所 野菜・花担当 TEL 0480-21-1115)